



ファームウェアバージョン:	V1.15beta17rc109
ハードウェアバージョン:	A1
発行日:	2017/03/01

本リリースノートには、D-Link 製アクセスポイントのファームウェア更新に関する重要な情報が含まれています。ご使用のアクセスポイントに対応するリリースノートであることを確認してください。

- 新しいアクセスポイントにインストールを行う際には、デバイス上のハードウェアバージョンの表示を確認し、ご使用のアクセスポイントがファームウェアのシステム要件を満たしていることを確認してください。ファームウェアとハードウェアの互換性についての詳細情報は、“変更履歴とシステム要件”の項を参照してください。

アクセスポイント本体に関する詳細な情報が必要な場合は“ユーザマニュアル”を参照してください。

目次：

変更履歴とシステム要件：	2
アップグレード手順：	2
Web GUI を使用したアップグレード	2
追加機能：	4
MIB の変更点：	4
修正した問題点：	4
既知の問題：	6

変更履歴とシステム要件：

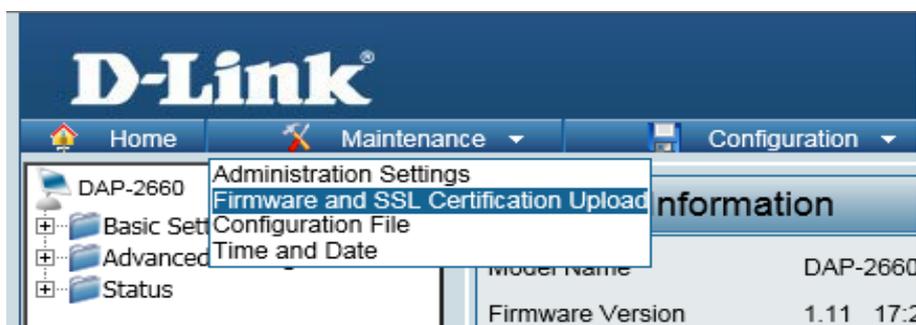
ファームウェアバージョン	リリース日付	モデル	ハードウェアバージョン
ランタイム: v1.15beta17rc109	2017/03/01	DAP-2660	A1

アップグレード手順：

ファームウェアのアップグレードは、Web GUI から行うことができます。アップグレード方法は次の「[WEB GUI を使用したアップグレード](#)」の手順に従い進めてください。

Web GUIを使用したアップグレード

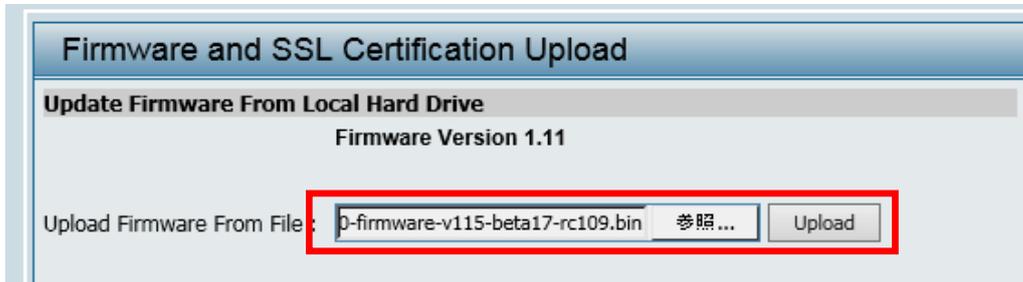
1. 本製品と設定用の PC を接続後、WEB ブラウザを立ち上げ、アドレスバーに WEB GUI の管理画面を表示します。
※工場出荷時状態の IP アドレスは http://192.168.0.50 です。
2. WEB GUI のログイン画面が表示されたら、ユーザ名とパスワードを入力し、ログインしてください。
※工場出荷時状態のユーザ名は「admin」、パスワードを「空白」です。
3. ログイン後、上部のメニューから「Maintenance」 -> 「Firmware and SSL Certification Upload」の順でクリックします。



4. 「Firmware and SSL Certification Upload」画面が表示されたら、「Update Firmware From Local Hard Drive」の「参照」ボタンをクリックし、ローカルのハードディスクに保存した本ファームウェアを選択します。



5. ファームウェアを選択した後、「Upload」ボタンをクリックして、ファームウェアをアップデートします。



6. ファームウェアのアップデートを開始すると、下記の画面が表示されます。ファームウェアのアップグレードが終了するまで若干時間がかかる場合があります。



7. ファームウェアが正常に終了するとログイン画面が表示されますので、再度ログインしファームウェアがアップデートされているかご確認ください。

追加機能 :

ファームウェアバージョン	追加機能
v1.15beta17rc109	<ol style="list-style-type: none"> 1. Central WiFi Manager v1.03 に対応致しました。 2. SSID 毎の Captive Portal 設定において VLAN インタフェースへのマッピングに対応致しました。 3. Captive Portal で HTTPS URL リダイレクションに対応致しました。 4. Client Information に OS 情報を追加致しました。 5. MAC ACL に関して、SSID ごと 64 個から周波数帯ごとに 512 個に変更致しました。 6. トラップイベントの説明を追加致しました。 7. 同一 SSID での複数スケジュール設定に対応致しました。 8. Language Pack のアップロード/削除機能を追加致しました。 9. 証明書の鍵長を 1024bit に拡張致しました。 10. OpenSSL のバージョンを更新致しました。

MIBの変更点 :

ファームウェアバージョン	MIB ファイル	追加機能
V1.15beta17rc109	DLINKAPMII2660.mib	<ol style="list-style-type: none"> 1. "ipv6Satus"と"ipv6From"についてオプション値を追加致しました。 2. "Dot11RssiThreshold"と"dot11DateRateThreshold"の入力値のリストが利用可能になりました。 3. 1 帯域辺りの ACL 合計数を更新したことに伴い、SNMP における ACL エントリ数を無制限としました。 4. Captive Portal 設定に SNMP 項目を追加致しました。

修正した問題点 :

ファームウェアバージョン	修正した問題点
v1.15beta17rc109	<ol style="list-style-type: none"> 1. バッファオーバーフローの脆弱性を修正致しました。 2. SNMP と AUTORF によるメモリリークの問題を修正致しました。 3. 5Ghz 帯の RX 統計情報が正しく表示されない問題を修正致しました。 4. System Information で値が表示されない問題を修正致しました。 5. Captive Portal において一部のブラウザ (360browser/IE11/Chrome) で HTTPS の URL リダイレクションができない問題を修正致しました。 6. スケジュール設定で時間指定を "All Day(s)" または 24 時間に設定していても、インタフェースがダウンすることがある問題を修正致しました。 7. Wireless Client モードに変更するとインタフェースがダウンすることがある問題を修正致しました。 8. MIB において以下の修正を行いました。 <ol style="list-style-type: none"> (1) Band Steering 機能の MIB 情報が正しくないために値の取得と設定ができない問題を修正致しました。

- (2) "system info"がロストする問題を修正致しました。
- 9. ACL ファイルが正常にダウンロードできない問題を修正致しました。
- 10. MIB において以下の修正を行いました。
 - (1) 2.4Ghz と 5Ghz の SSID が異なる場合でも MIB の Band Steering が有効化できる問題を修正致しました。
 - (2) "Dot11AclRssiThreshod"の取得値が WEB 表示と異なる問題を修正致しました。
 - (3) get MAC Address が MIB に追加された内容と異なる問題を修正致しました。
 - (4) ACL ファイルを MIB にロードすると MIB に MAC アドレスを追加できない問題を修正致しました。
- 11. Device Type 項目におけるスペルミスを修正致しました。
- 12. タイムゾーンの選択肢を追加致しました。
- 13. Intrusion 設定において 64 以上のエントリを Valid/Rogue アクセスポイントとして設定できてしまう問題を修正致しました。
- 14. Device Information ページで 2.4Ghz/5Ghz 帯の SSID が正しく表示されるように修正致しました。
- 15. Band Steering とマルチ SSID 設定における警告メッセージを更新致しました。
- 16. コンフィグファイルのアップロードエラーを修正致しました。
- 17. Syslog において、WEB UI からのユーザのログアウト履歴がログに記録されない問題を修正致しました。
- 18. 新しく検出されたアクセスポイント以外のアクセスポイントに対しては、Intrusion 設定による Rouge や Valid のタグ付けを行わないように修正致しました。
- 19. LDAP 設定における Base DN と Identify 項目の入力文字数が 256 文字に制限される問題を修正致しました。
- 20. Download Config プロンプト画面におけるスペルミスを修正致しました。
- 21. IE9 でスケジュール設定が動作しない問題を修正致しました。
- 22. 以下の証明書更新の処理を実装致しました。
 - (1) ユーザによる証明書ファイルとキーのアップロードをチェックする
 - (2) 証明書がカスタマイズされていない場合、ファームウェア更新時に新しい証明書とキーを生成する
 - (3) 工場出荷時の設定に戻す際に新しい証明書とキーを生成する
- 23. VLAN を有効化した状態で Captive Portal にアクセスした場合に 403 エラーが返される問題を修正致しました。
- 24. WDS with AP モードで接続制限が設定できない問題を修正致しました。
- 25. CSRF 攻撃が HTTPS 接続によって回避できない問題を修正致しました。
- 26. MAC ACL ルールの数が最大値を超えた場合にも新しいルールが追加可能な状態となる問題を修正致しました。
- 27. VLAN オプションを設定しようとする 403 エラーが返されることがある問題を修正致しました。
- 28. Bandwidth の Uplink と Downlink の値の範囲が正しくない問題を修正致しました。
- 29. WPA2/TKIP で認証に失敗することがある問題を修正致しました。
- 30. IPv6 通信において認証なしでインターネットに接続できる問題を修正致しました。
- 31. イーサネットから WLAN へのアクセスが無効化されているときに DHCP が送信するブロードキャストパケットがドロップし、ステーションが IP アドレスを取

	<p>得できない問題を修正致しました。</p> <p>32. WPA/AES 暗号化を設定し 5GHz WDS モードで動作している場合に ping 送信が失敗する問題を修正致しました。</p> <p>33. WLAN パーティションにおける"Ethernet to WLAN access"設定が動作しない問題を修正致しました。</p> <p>34. IP mode Dynamic + Limited Administrator VLAN mode で LAD VLAN を 1 以外にすると、DHCP での IP 取得に失敗する問題を修正致しました。</p> <p>35. Wireless Schedule Rule に blank が含まれる Name を設定すると、対象の SSID の Beacon が止まる問題を修正致しました。</p> <p>36. Wireless Schedule にて、5GHz の Primary SSID の稼働時間外に AP を起動した際に、W53/W56 の Channel にて起動した場合、5GHz MSSID の Beacon が止まる問題を修正致しました。</p> <p>37. DeAuth フレーム受信の際に SNMP Trap が上がらない問題を修正致しました。</p> <p>38. SNMP コミュニティ名について、特殊文字 (# ` ' ¥ ") を入力無効とし、30 文字以上の入力が不可となるように修正致しました。</p> <p>39. CLI の get schedule コマンドですべてのルールを正しく表示するように修正致しました。</p> <p>40. CLI の get wlan count で値を取得できない問題を修正致しました。</p>
--	--

既知の問題：

ファームウェアバージョン	既知の問題
v1.15beta17rc109	<ol style="list-style-type: none"> 1. WebUI について、IPv6 の HTTPS をサポートしません。 2. Captive Portal の設定が旧 FW バージョン (R1.11xx 以前の F/W) から引き継がない問題。 => 解決策 : アップグレード後、Captive Portal 部分について、再設定を行ってください。 3. IPv6 と AP Array を併用できない問題。 4. Cold Start の Syslog Trap がサポートされない問題。 5. 周辺 AP が多い(120 以上の SSID がある)場合、Auto Channel、Channel Analyze が適切に機能しない問題。 6. Captive Portal の IPIF における DNS サーバの IP アドレスが、WPA-EAP 等における Radius サーバの IP アドレスと同じ場合、LAN の IP アドレスではない IP アドレスを Source IP アドレスとして認証する問題。

Copyright 2006-2017 D-link Japan K.K.